

## 目 次

### 第一章 作業責任者（職長）の役割と監督能力

1. 労働安全衛生に関する法律
2. 全豊田で定める作業責任者（職長）とは
3. 作業責任者（職長）の任務
4. 作業責任者の選任範囲と選任基準
5. 事業者責任について
6. 安全衛生責任者（作業責任者）が行う安全衛生管理
7. 作業者の適正配置
8. 作業責任者に必要な監督能力
9. 指導・教育の進め方

### 第二章. リスクアセスメントの考え方

1. リスクアセスメントとは
2. 『危険性又は有害性等の調査等に関する指針』の概要
3. 工事・作業のリスクアセスメント

### 第三章. 作業環境の改善

1. 建設物・機械設備の安全化
2. 建設物・機械設備の作業環境保持
3. 安全衛生保護具
4. 安全衛生点検
5. 感電災害を防ぐ安全装置

### 第四章. 作業手順と作業指示

1. 作業手順（書）とは
2. 作業手順書の必要性
3. 作業手順書の作成
4. 作業手順書の見直し
5. 指示および監督
6. 構内作業における具体的な作業指示方法
7. 作業方法の改善

## 第五章. 安全衛生活動の活性化

1. ヒューマンエラー
2. 指差呼称、指差唱和、タッチ・アンド・コール
3. KYT基礎 4R（ラウンド）法
4. 関心の保持
5. 創意工夫

## 第六章. 異常時・災害発生時の措置

1. 異常時における措置
2. 災害発生時の措置

主な改訂点

昭和55年4月 制定  
平成 23 年3月 第 10 回改訂  
発行 全豊田安全衛生研究会